

保護者様

令和3年7月20日
神埼市西郷小学校
校長 遠藤 浩幸

通知表「あゆみ」の見方について

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育に対しご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、通知表「あゆみ」とは、各学期でのお子様の学習や学校生活全般において、どのようなことを頑張っていたのか、また、努力が必要なことが何か、担任がどのような支援を行っていたのかをお知らせするものです。お子様の各学期での学習等の状況を見ていただき、できているところや伸びているところはさらに伸びるようにほめ、努力が必要なことについては一緒に課題に向き合い、支援していただければと思います。

昨年度より「新学習指導要領」が完全実施となり、通知表「あゆみ」の内容が変わっています。「学習の様子」については、評価をする観点が変わっています。「知識・技能」「思考・判断・評価」「主体的に取り組む態度」の3観点到まとめられました。この観点は全ての教科等に対応することになっています。3観点は以下のとおりです。

① 「知識・技能」の評価

各教科等における学習の課程を通した知識及び技能の習得状況について評価をします。また、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

② 「思考・判断・表現」の評価

各教科等の知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

調整力、つまり、振り返りをもとに自分で学習を組み立てていく力や最後まで、粘り強く取り組む力について評価します。

それぞれの評価は、1つの授業の1度きりのテストやノートの記述、発言、振り返り等で対象化されるものではありません。時間や内容のまとまりの中で、継続的に他の資質や能力と関連させながら評価をしていきます。本校では「よくできる」「できる」「もう少し」の3段階で評価しています。

この3段階は、以下のような判定基準で評価しています。

「よくできる」…学習態度や発言内容、ノートの記述なども含め、ねらいを十分上回っている状況（90%から95%以上）であれば「よくできる」に○が付きます。

「で き る」…各観点において、ねらいがおおむね上回っている状況（70%～80%以上）であれば「できる」に○が付きます。

「も う 少 し」…観点のねらいが達成されていなかったり、努力が必要であったりする場合（70%未満）には「もう少し」に○が付きます。

【生活の様子について】

お子様の学校での生活の様子や行動の特徴10項目について評価したものです。各項目の生活のめあてについては「できる」「もう少し」の2段階で評価しています。

「で き る」…各項目において、生活のめあてが達成（十分からおおむね）されている状況であれば、「できる」に○が付きます。

「も う 少 し」…生活のめあてが達成されずに、努力を必要とすることが顕著な場合には「もう少し」に○が付きます。

【総合的な学習の時間について】

総合的な学習の時間（3年生から6年生）は、各学年の探究課題（テーマ）にそって、他教科と同様に「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの資質・能力の中で、どのような力が発揮できていたか、どのような力が伸びてきたかを具体的に記載します。

今年度も、2学期に記述します。

【外国語活動について】

高学年は、各教科と同様に、3観点について3段階評価をします。中学年は、3観点の中で、どのような力が身に付いたかについて顕著なものを記述します。今年度は1学期に学習状況を記載します。

【道徳について】

一昨年度より、特別の教科「道徳」として、教科化されました。道徳的な価値について議論しながら、自己の生き方についての課題の答えを自分なりにもてるようになることが大切です。児童の発言内容やワークシートの記述内容等から読み取り3学期に記載します。

【所見について】

学校生活の様々な場面の中で、一人ひとりの学びに向かう姿勢や学力の伸長、また友達との関わり方や奉仕的な行動などを具体的に記載します。今年度も2学期と3学期に記載するようにします。

1学期については、学期末の個人懇談において、個別にお話させていただきます。

【1年生の「あゆみ」について】

1年生の1学期の通知表「あゆみ」は、小学校初めての通知表です。就学前の経験が一人一人違いますので、あわてず、ゆっくり、よい面を伸ばすように支援をしていきます。何よりも、個々のよさを認め、ほめることが自信と意欲につながります。

1学期の学習は、「できる」と「もう少し」の2段階評価です。2学期からは、他学年と同じように各教科の観点別は「よくできる」「できる」「もう少し」の3段階評価となります。

通知表は、子どもの「よさ」を捉え、今後の学びに生かすための評価です。その上で営まれる指導が、子どもの「伸び」を保証していきます。私達教師は、1学期の通知表の結果をもとに、その子のよさをさらに伸ばしていくためには、どのような手立てが有効なのかを考えて指導をしていきます。

子どもたちが通知表を持って帰ってきたら、お子様のがんばりを認めてあげてください。夏休みに行われる個人懇談では、お子様の「強み」が何かということや、自らの課題を解決していけるような姿になるためには、何が必要なのかについて、お話ができればと考えています。

この通知表が、子どもたちのよりよい成長につながっていくことを期待しています。